

# HTML5 - マークアップ

現在の標準仕様を学ぶ

## セマンティックなマークアップを心がける

HTMLが主流であるマークアップ言語は、セマンティックなマークアップ（意味階層を持ったタグ付け）である必要があります。前期に学習して学んだ基礎的なタグと合わせて、これからはアウトライン（階層）を意識したマークアップを理解しましょう。

例えば、sample01のテキストを従来どおり（HTML4 or XHTML等）のマークアップで実施しましょう

sample01.html

HTML5

HTML5とは...  
要素

要素とは...  
section要素

section要素とは...  
article要素

article要素とは...  
DOM

DOMとは...

## まずは、今まで通り見出しレベルを意識する

従来どおり、h1要素を文書内に1度使用し、その他の小見出しについては各見出しのレベルに合わせた使い方でマークアップしていきます。

```
<h1>HTML5</h1>
<p>HTML5とは....</p>
<h2>要素</h2>
<p>要素とは....</p>
<h3>section要素</h3>
<p>section要素とは</p>
<h3>article要素</h3>
<p>article要素とは...</p>
<h2>DOM</h2>
<p>DOMとは...</p>
```

## 見出しのかたまりはセクション、そして構成はアウトライン

章や節のように見出しと段落で構成されたまとまった領域のことをセクションと言います。書籍等では、馴染み深いものになりますが、Webでも同じ様に例えられます。大きなセクションの中に様々な階層のセクションが並べられています。

HTML4.1やXHTMLでは、そのセクションを分ける構成は、h1～h6をセクションの目印にする手がかりでしたが、HTML5には、新たに追加されたセクショニング・コンテンツを利用することで、セクションの構成を担う役割を果たします。

## section Element

### 一般的なセクションを表す

カテゴリ	フローコンテンツ セクショニング・コンテンツ パルパブルコンテンツ
------	-----------------------------------

利用場所	フローコンテンツ内
------	-----------

#### Point

section 要素は一般的なセクションを表します。カテゴリはセクショニング・コンテンツですので、アウトラインの構成を行います。使用する際は必ず、章や節になる単位で使用しなければいけません。章や節になるので、section 内には見出し（h1～h6）が必要です。

もし、まとまりに対してスタイルを設定したい目的で使用するならば、div 要素を使います。セクショニング・コンテンツは他にも種類があるので、他のセクショニング・コンテンツ要素の方がふさわしい場合そちらを優先して使います。

※その他のセクショニング・コンテンツに関しては後ほど記述します。

### sectionを使ってアウトライン化を行う

先ほどのセクショニング・コンテンツを利用してアウトライン化を行うと下記のようなアウトラインを作成することが出来ます。

先程のsample01.html内のマークアップにsection要素を用いてアウトライン化を行ってみましょう。

sample01.htmlの構造をアウトライン化（構造化）した時の構成

- 1. HTML
  - 1.1 要素
    - 1.1.1 section要素
    - 1.1.2 nav要素
    - 1.1.3 article要素
  - 1.2 DOM

### 従来の見出しだけのマークアップでの問題点

HTML4やXHTML1ではアウトラインを判別するための手掛かりは、見出し要素だけでした。h1要素を二つ以上使ったとしても文法上問題はありません。

しかしアクセシビリティ上やSEOを考慮すると、h1要素はページに1つだけしか使わない方法が望ましいでしょう。

サイト名は、サイト全体を1つのドキュメントと捉えればもっとも重要な見出しです。しかし、個々のページだけを見ればそのページのメインコンテンツの見出しがページの見出しとも判断できます。

この場合、

- ① サイト名をh1要素で、ページ見出しをh2でマークアップし、その下部見出しをh3～h6要素をつかう
- ② サイト名に見出し以外の要素でマークアップし、ページ見出しをh1要素とする。
- ③ サイト名とページ見出しをh1要素として2つ以上使用する。

どの方法にも、それぞれの主張があり何をもっとのベストか非常に判断に悩みます。

### アウトラインを作るために生まれたセクショニング・コンテンツ

HTML5で新たに導入された要素をうまくつかえば、これらの問題を解決することができます。すべてのセクションにセクションを構成する要素を使えば、見出し要素の数字の意味はなくなります。

極端にいえばすべての見出しをh1要素でマークアップしても構わないことになります。セクショニング要素を正しく使われていれば、見出し要素のレベルでなく、セクショニング要素の構造によって自動的にアウトラインが判別されるからです。

## article Element

### 独立した（自己完結）コンテンツを表すセクション

カテゴリ	フローコンテンツ セクショニング・コンテンツ パルパブルコンテンツ
利用場所	フローコンテンツ内

#### Point

article 要素はブログの投稿やニュースサイトの記事のように、それ自身独立したコンテンツの単位を表します。また、ブログ記事へのコメント、掲示板の投稿にも使用されます。ウィジェットやガジェットの領域にも適用されます。

考え方としては、RSS フィード（お知らせ）にそのコンテンツが1 エントリーとして入るのがふさわしいかどうかを考えてみて下さい。

必要だとすれば article 要素が望ましいでしょう。そうでなければ section 要素など別の要素にするべきです。

## aside Element

### 間接的な関係を持つコンテンツを表すセクション

カテゴリ	フローコンテンツ セクショニング・コンテンツ パルパブルコンテンツ
利用場所	フローコンテンツ内

#### Point

aside 要素は、補足記事やサイドバー、広告などメインコンテンツとは関連が薄く、切り離す事が出来ると考えられる場合に使用されます。aside 要素自身が削除されたとしてもページのコンテンツが成り立つものに使用しましょう。

aside 要素は使用する箇所が違い、ブログ記事が含まれる article 要素内で使用する場合、記事に何かしら関連性が無ければいけません。そうでなければメインコンテンツ外で aside 要素を使用することが理想です。

## nav Element

### 主要なナビゲーションを表すセクション

カテゴリ	フローコンテンツ セクショニング・コンテンツ パルパブルコンテンツ
利用場所	フローコンテンツ内

#### Point

nav 要素は、サイト内の主要なナビゲーションリンクに対して使用します。主に、グローバルメニューや目次・索引などが代表的です。マークアップ上見出しを入れる必要はありませんが、視覚障害者のユーザーはこの nav 要素を使用して読み上げを省略するなどの判断に利用される事からアクセシビリティ上は見出しがある方が望ましいといえます。

## ここからは、前期で取り上げていない他要素

### header , footer Element

文書のヘッダー , 文書のフッター

カテゴリ	フローコンテンツ パルパブルコンテンツ
------	---------------------

利用場所	フローコンテンツ内 ※ただし子孫に header, footer が無いこと
------	--

#### Point

header 要素は、ページのヘッダー（ロゴ・メニュー・検索フォームなどをグループにしたもの）を表します。他にも投稿される記事のヘッダー等にも使用されます。

また、著作権に関する情報や関連文書などのフッターを囲う footer 要素も存在します。

### main Element

文書の主要な内容を表す

カテゴリ	フローコンテンツ パルパブルコンテンツ
------	---------------------

利用場所	フローコンテンツ内
------	-----------

#### Point

文書の主要な場所（メインコンテンツになりうる箇所）には main 要素が用意されています。主要なので、複数箇所設置する事はできません。

### time Element

特定の時の区分を表す

カテゴリ	フローコンテンツ フレージングコンテンツ パルパブルコンテンツ
------	---------------------------------

利用場所	フレージングコンテンツ内
------	--------------

属性値	意味
datetime	決められたフォーマットで記載（グレゴリオ暦）

datetimeの記載について

<https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/HTML/Element/time>

#### Point

コンテンツに時間の情報がある場合、time 要素と datetime 属性を利用して、機械可読（フォーマット）な日付を設定することが可能です。

例 <p><time datetime="1600-07-24T18:00">7 月 24 日 18 時 </time> 関ヶ原なう </p>

## small Element

UPDATE

細目（ルールや決まりごとなど）や注釈を表す

### カテゴリ

フローコンテンツ フレージングコンテンツ

### 利用場所

フレージングコンテンツ内

### Point

small 要素は、もともと1段階文字のサイズを縮小するだけの要素でしたが、HTML5 からは、細目などの注釈を表す要素という意味をもつことになりました。細目とは、細かく取り決められたもの、帰属情報や著作権表記に用いられます。著作権表記で使用する場合は、small 要素がフレージング・コンテンツの為、p 要素と使うのが一般的です。

small要素をいちばんよく使う組み合わせ

```
<p><small>copyright &copy; 144 comp design</small></p>
```

## 参考資料

HTML要素一覧

<https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/HTML/Element>

datetimeの記載について

<https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/HTML/Element/time>

WHATWG HTML5仕様

<https://html.spec.whatwg.org/multipage/>

W3C HTML5仕様

<https://www.w3.org/TR/html51/>

Wikipedia - 機械可読目録

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%A9%9F%E6%A2%B0%E5%8F%AF%E8%AA%AD%E7%9B%AE%E9%8C%B2>